薔薇の庭の手紙

祖母の家の庭には、赤い薔薇がさいています。門のそばには、古い木の郵便受けがあります。

今日、その郵便受けに、一通の手紙が入っていました。差出人の名前は書いてありません。封筒をあけると、「明日の朝、物置の梯子（はしご）の下を見てください。」と書かれていました。

次の朝、わたしは早起きをして、梯子の下をのぞきました。そこには、小さな植木鉢がありました。土から、緑の芽が一つ、顔を出しています。

「去年の秋に、二人でまいた向日葵だよ。」

祖母は、少しはずかしそうにわらいました。手紙を書いたのは、祖母だったのです。

わたしは、大人になっても、この手紙を大切にしようと思いました。

漢字の右に、読みがなが出ます。「梯子」のように、もとからある読みがなは、そのままです。

この見本の文章は、ルビペたPDF のために書き下ろしたものです（MIT ライセンスで配布）。

影の長さの観察

晴れた日に、校庭に立てた棒の影の長さを測りました。大人の人に時刻を見てもらいながら記録しました。

用意したもの

・長さ一メートルの棒
・巻尺と方位磁針
・記録用紙と鉛筆

結果

・午前九時　百四十センチメートル
・正午　四十センチメートル
・午後三時　百二十センチメートル

わかったこと

太陽が高いほど、影は短くなります。今日の結果から、正午ごろに太陽がいちばん高くなることがわかりました。

> メモ：休み時間に、檸檬の蜂蜜漬けを食べました。次は、曇りの日や、冬の日にも調べてみたいです。

この見本の文章は、ルビペたPDF のために書き下ろしたものです（MIT ライセンスで配布）。